

解答例 および 点数配分例

問1 上記問題文を読み、以下に答えなさい。

1) 平成28年度の肢体不自由特別支援学校在学者数は、平成19年度の在学者数の何倍になっているか、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

10点 約 (1.1) 倍 $31889 \div 29917 = 1.0659 \dots$

2) 平成28年度の肢体不自由特別支援学校数は、平成19年度の学校数の何倍になっているか、小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

10点 約 (1.4) 倍 $349 \div 249 = 1.4016 \dots$

3) 小学校・中学校の通常の学級に在籍する児童生徒のうち、学習面や行動面で著しい困難を示す児童生徒が6.5%いると推定されているが、この数値は1学級40人とする1学級中におおよそ何人が学習面や行動面で著しい困難を示していることになるか。小数第1位を四捨五入して求めなさい。

10点 おおよそ (3) 人 $40 \times 0.065 = 2.6$

問2 上記問題文中で、特別支援教育での教員以外の専門家として、例にあげられているものをすべて答えなさい。

10点 (スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、ST (言語聴覚士)、OT (作業療法士)、PT (理学療法士))

※ST (言語聴覚士) はSTまたは言語聴覚士のみでも可。OT (作業療法士)、PT (理学療法士) も同様。

問3 上記問題文では、特別支援教育で理学療法士等の専門家の活用を図ることにより、どのようにすることが必要であるとしているか、答えなさい。

10点 (障害のある子どもへの支援を充実させること)

問4 問題文の内容を読み取り、特別支援教育の場で理学療法士がその専門性を生かしてどのような役割を担っていくべきか、あなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。

50点

10点 具体的な提案が1つ以上書かれている。

10点 その理由が書かれている。

10点 文章内容の辻褄が合っている。

10点 文章の体裁が整っている。

10点 文字数が360文字以上書かれている。

－3点 誤字・脱字、不明な文字 (1ヶ所につき)